

令和元年度(2019)

学 校 評 価

生徒回収数	502名(555名在籍数)	91.1%
保護者回収数	359名(517名家庭数)	69.4%
教員回収数	38名	100%

川西市立清和台中学校

【 グラフの見方 】

※ グラフ

保護者及び生徒は、16項目についてアンケートをおこなった。設問に対して、「よくあてはまる」「あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の割合を棒グラフに表している。グラフ中の数字は「%」を表している。

※ 評価

肯定的な評価（「よくあてはまる」「あてはまる」）の合計を基準として、達成率をS～Dの5段階で評価している。それぞれの評価の基準と意味は下の表のとおりである。

評価	評価基準（達成率）	意 味
S	90%以上	優れている
A	80%以上 90%未満	良好
B	70%以上 80%未満	おおむね良好
C	60%以上 70%未満	要努力（取組の充実が必要）
D	60%未満	要改善（取組に課題がある）

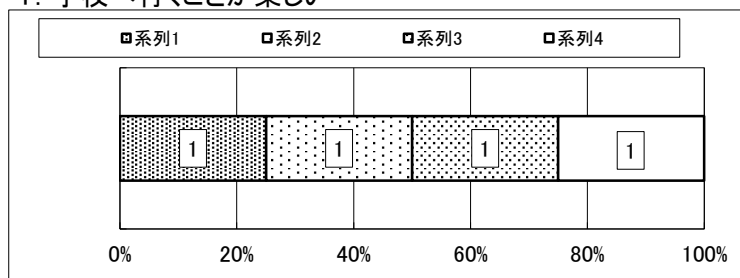
※ 評価基準（達成率）

肯定的評価（「よくあてはまる」「あてはまる」の合計）

※ 【考察】には、生徒、保護者、教職員それぞれの評価結果からわかることや評価結果を比較・考察した内容を記載しています。

【 生徒・保護者・教職員の関係者評価アンケート集計結果 】

1. 学校へ行くことが楽しい



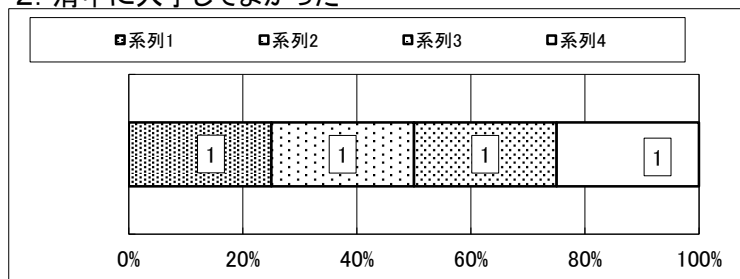
(生 徒)学校へ行くことが楽しい

評価	生 徒	保護者	教職員
A	*****	*****	*****

【考察】

学校に行くのが楽しいと肯定的な生徒が80%を超える割合が続いています。一方で、否定的な生徒も10%台と続いている現状を受け止める必要があります。今後も、保護者との連携を深めていくと共に、「魅力ある学校づくり」を追究し、誰もが行きたいと思える学校づくりに努めます。

2. 清中に入学してよかった



(生 徒)清中に入学してよかったと思う

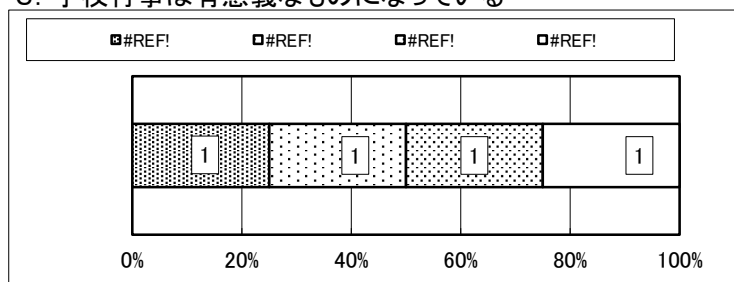
(保護者)子どもが清中に入学してよかったと思う

評価	生 徒	保護者	教職員
S	S	S	*****

【考察】

90%を超える肯定的な回答となりました。楽しさが実感できる教育活動の実践に努めていきます。一方で、否定的な回答が10%程あることも受け止め、生徒、保護者の思いに耳を傾けより良い学校運営に努めます。

3. 学校行事は有意義なものになっている



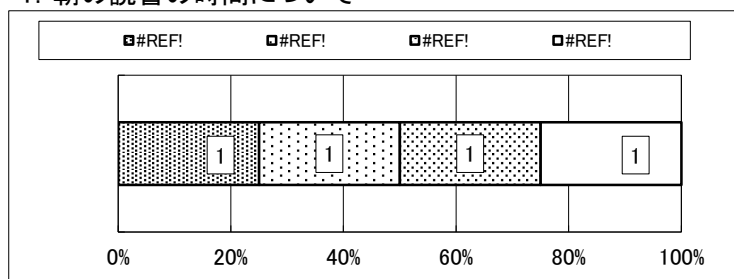
(生徒) 体育大会や学習発表会など学校行事は充実していて楽しい
 (保護者) 体育大会や学習発表会などの学校行事は有意義なものになっている
 (教職員) 学校行事が生徒にとって価値ある体験となっている

評価	生徒	保護者	教職員
	S	S	S

【考察】

生徒の主体的な活動により集団の力が発揮され、価値ある体験活動となっています。また、保護者や地域の方々の理解と協力に支えられています。
 これらの成果と共に、様々な課題とも向き合い持続可能な行事運営に努めます。

4. 朝の読書の時間について



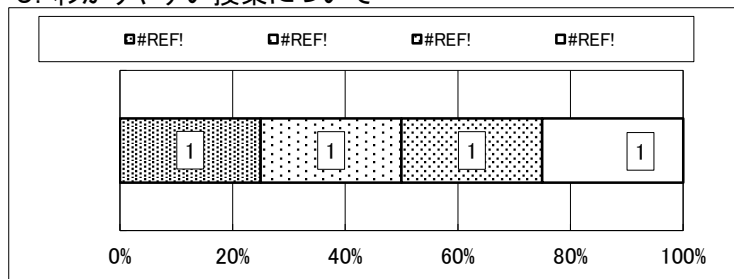
(生徒) 朝の読書の時間は大切な時間である
 (保護者) 子どもにとって、朝の読書の時間は意味のある時間である
 (教職員) 朝の読書の時間は生徒にとって充実したものとなっている

評価	生徒	保護者	教職員
	B	A	S

【考察】

読書活動は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく大切なものです。これらの教育効果を踏まえ、生徒が自主的に読書活動できる環境を整えていくと共に読書活動の意義を理解し充実した時間となるよう継続していきます。

5. わかりやすい授業について



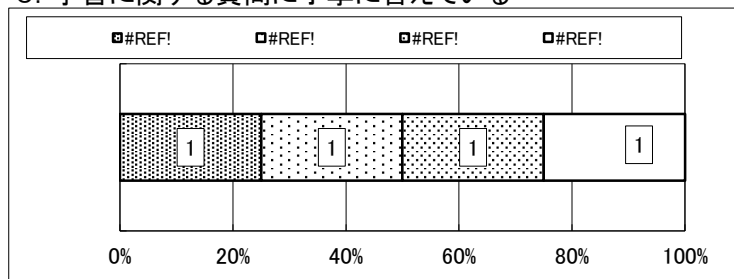
(生徒) 先生は、わかりやすい授業をしてくれている
 (保護者) 先生は、わかりやすい授業をおこなっている
 (教職員) 生徒にとって「わかる授業」を実践している

評価	生徒	保護者	教職員
	A	B	A

【考察】

「授業が分かる」ことで「学校が楽しくなる」という相関関係があります。現状の評価を検証すると共に、現在の課題を整理する必要があります。
 「分かる授業」をめざし、教職員個々の授業づくりの研修を積み重ねていくと共に教科横断の連携も深めていきます。

6. 学習に関する質問に丁寧に答えている



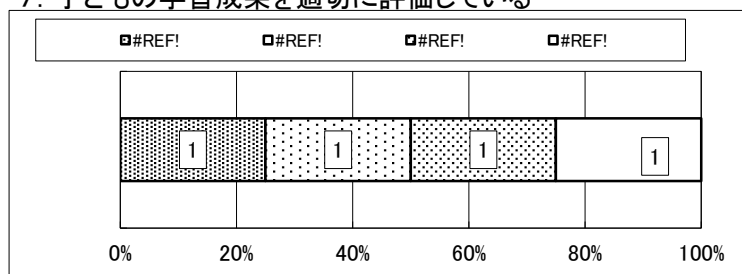
(生徒) 先生は、学習に関する質問に丁寧に答えてくれる
 (教職員) 学習に関する生徒の質問に丁寧に答えている

評価	生徒	保護者	教職員
	S	*****	S

【考察】

生徒と教職員の肯定的な回答がほぼ同じであり、教職員の日頃からの関わりと生徒の学習意欲によるものと感じます。若干、生徒に否定的な回答がありますが、今後も全ての生徒に対して、丁寧且つ適切に対応していく姿勢を心掛けていきます。

7. 子どもの学習成果を適切に評価している



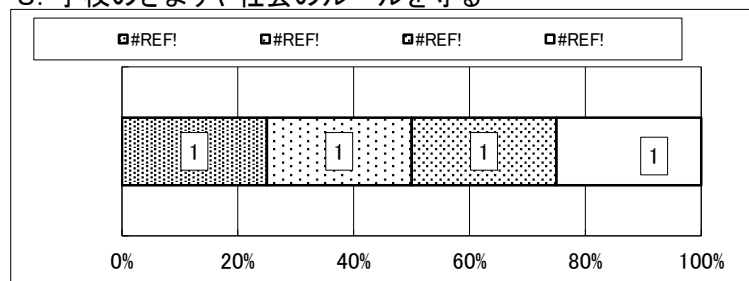
(生徒) 先生は、学習の評価を適切にしてくれている
 (保護者) 先生は、子どもの学習成果を適切に評価している
 (教職員) 生徒の学力や学習到達度を適切に評価している

評価	生徒	保護者	教職員
	S	S	S

【考察】

指導や評価方法について肯定的な回答が多く、一定の理解が得られています。評価は次の指導のために行うものであり、生徒の成長を促すものでもあるという認識を持ち、今後も、学習成果を適切に評価し、生徒の学ぶ意欲に繋げられるよう努めます。

8. 学校のきまりや社会のルールを守る



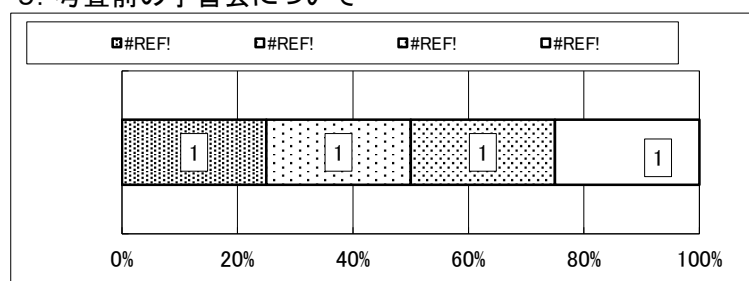
(生徒) 学校のきまりや社会のマナーをよく守って生活をしている
 (保護者) 清中生は、学校のきまりや社会のマナーをよく守って生活をしている
 (教職員) 社会のルールやマナーが身に付くよう指導している

評価	生徒	保護者	教職員
	S	A	S

【考察】

多くの生徒が主体的に風紀面やマナーなどを意識して学校生活を送っている様子が見られます。一方で、通学時のマナーについて地域の方からご指摘を頂くこともあります。社会のルールやマナーについて継続的な指導を行っていきます。

9. 考査前の学習会について



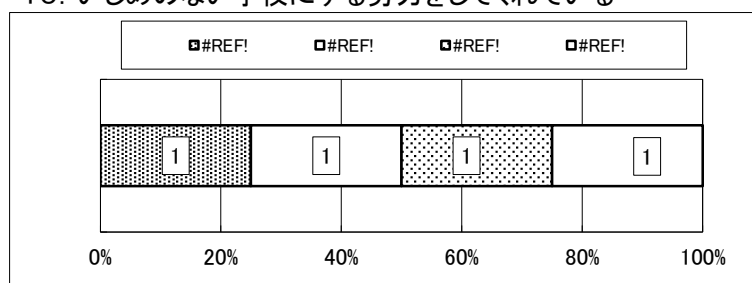
(生徒) 考査前学習会は有意義な時間と思う
 (保護者) 考査前学習会は有意義なものになっている
 (教職員) 考査前学習会は、生徒にとって充実したものになっている

評価	生徒	保護者	教職員
	A	C	C

【考察】

生徒の評価はAとなっていますが、保護者と教職員の評価がCとなり、学習内容や学習方法など検証する必要があると認識しています。生徒の自主的な活動や学習意欲の向上に繋がるよう考査前の在り方について検討します。

10. いじめのない学校にする努力をしてくれている



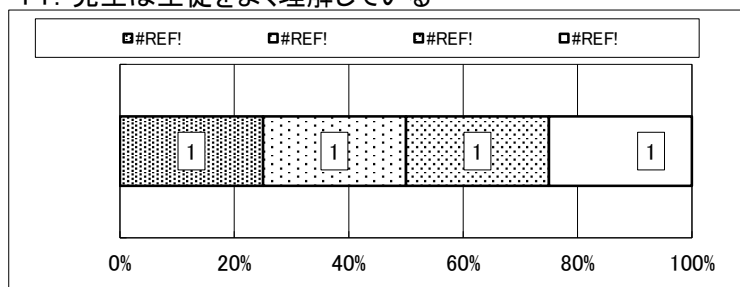
(生徒) 先生は、いじめのない学校にしようと努力してくれている
 (保護者) 先生は、いじめのない学校づくりに努力している
 (教職員) 暴力やいじめのない学校や学級づくりに努めている

評価	生徒	保護者	教職員
	S	A	S

【考察】

10%の生徒・保護者が不安を持っている現状を踏まえ、いじめが起こらない学校づくりに努めます。また、いじめアンケート調査のみに頼らず、日々の生活の中で生徒の小さな変化や保護者からの情報などにも注視していきます。

11. 先生は生徒をよく理解している



(生徒) 先生は、あなたのことをよく理解してくれている

(保護者) 先生は、子どものことをよく理解してくれている

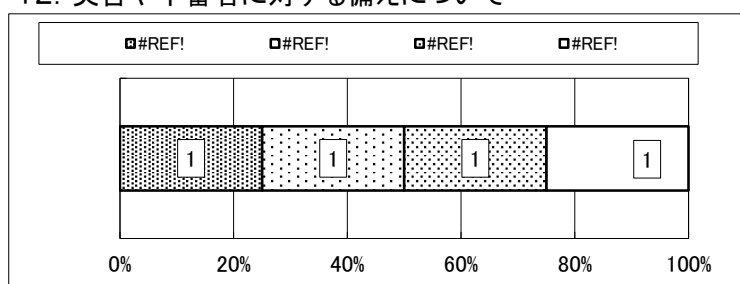
(教職員) 生徒一人一人を理解し大切にされた教育活動をおこなっている

評価	生徒	保護者	教職員
	A	A	A

【考察】

三者共、概ね肯定的な回答となりました。一方で10%強の否定的な回答にも真摯に受け止め、生徒理解を基本とした内面に迫る対応を心がけていきます。学校教育活動は良好な信頼関係から成り立つ事を再認識し、今後も、生徒・保護者の声に耳を傾け丁寧且つ適切な関わりを大切にしていきます。

12. 災害や不審者に対する備えについて



(生徒) 毎日、安全に登校するよう心がけている

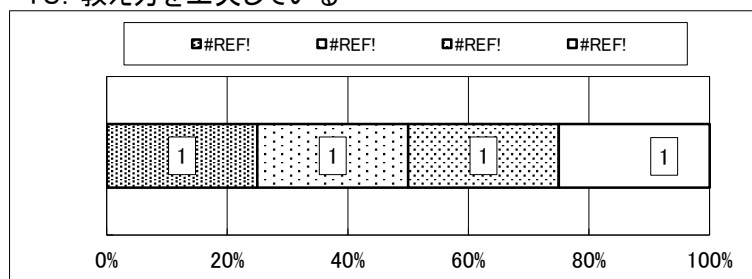
(教職員) 災害時や緊急時の避難行動について、適切に指導している

評価	生徒	保護者	教職員
	S	*****	S

【考察】

「備えあれば被害は最小限にできる」という、自然災害や不審者対応など様々な状況に対応できる危機管理意識を教職員が持ち、生徒に周知する必要があります。防災教育を視野に入れた、心の教育など命の大切さや人権意識の向上に努めます。

13. 教え方を工夫している



(生徒) 教え方を工夫してくれていると思う

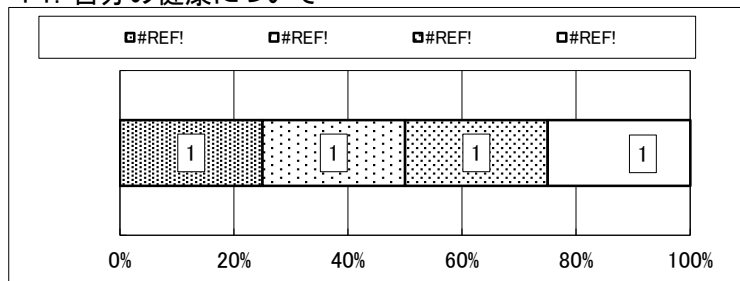
(教職員) 授業研究を通じて授業方法の改善に取り組んでいる

評価	生徒	保護者	教職員
	S	*****	S

【考察】

生徒・教職員共にS評価となりました。教職員は、学び続ける事によって、自らの知識・技能が向上していく事を認識し、授業研究などを通して改善に取り組んでいきます。学習指導要領の全面実施に向け、指導と評価の一体化についても研修を進めていきます。

14. 自分の健康について



(生徒) 自分自身、健康で安全な日常生活が送れるよう気をつけている

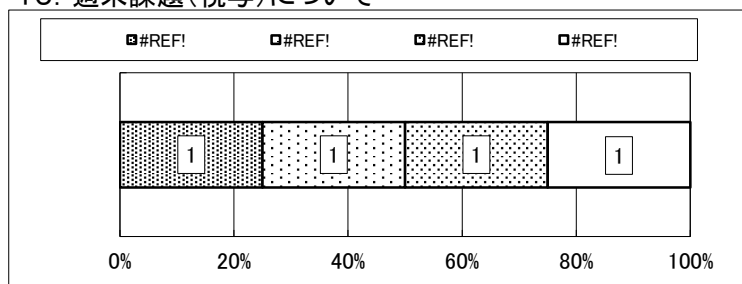
(教職員) 生徒が自分の健康管理を心がけるよう指導している

評価	生徒	保護者	教職員
	S	*****	A

【考察】

学校は生徒にとって安全で安心な場所であればなりません。このことを念頭に、健康で安全な学校生活が送れるよう、安全指導や健康指導の徹底に努めます。また、生徒の自己管理意識を高める為に、養護教諭による指導や教科指導、学級指導など横断的な指導体制を続けます。

15. 週末課題(視写)について



(生徒) 有意義な取組だと思う

(保護者) 有意義なものになっている

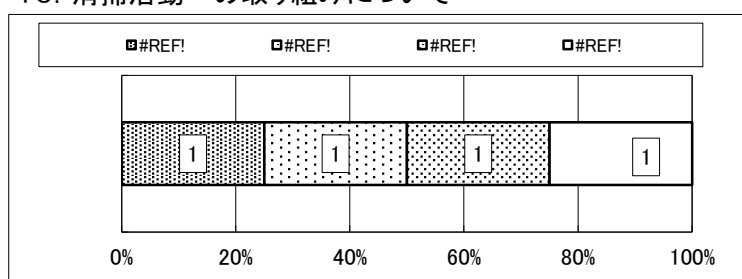
(教職員) 有意義だと思う

評価	生徒	保護者	教職員
	C	C	C

【考察】

全国学力学習状況調査において、視写などを継続的に行う学習活動の重要性が指摘されています。生徒に必要な力をつける新しい取り組みとして、今年度から1・2年で実施しました。(3年生は従来通り)次年度は3学年一斉に実施し、学力向上の一環として検証を行います。

16. 清掃活動への取り組みについて



(生徒) 学校を美しくするために、しっかりと清掃活動に取り組んでいる

(保護者) 美しい学校環境を保つため清掃活動に取り組んでいる

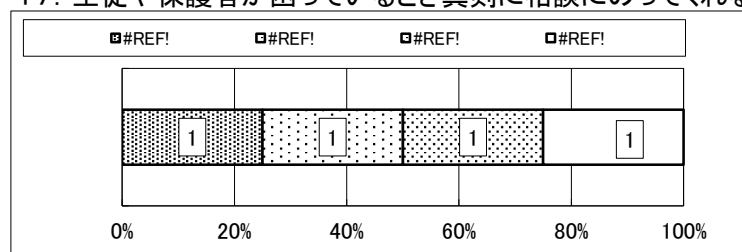
(教職員) 生徒の清掃活動を適切に指導している。

評価	生徒	保護者	教職員
	S	S	A

【考察】

良好な評価であり、今後も続けていかなければなりません。公共物を大切に、落ち着いた学習環境をつくることにより、安定した学校生活が維持できます。生徒会活動の充実と共に教職員の適切な指導や率先垂範を心掛け、常にS評価を目指します。

17. 生徒や保護者が困っているとき真剣に相談にのってくれる



(保護者) 先生は、生徒や保護者が困っているとき真剣に相談にのってくれる

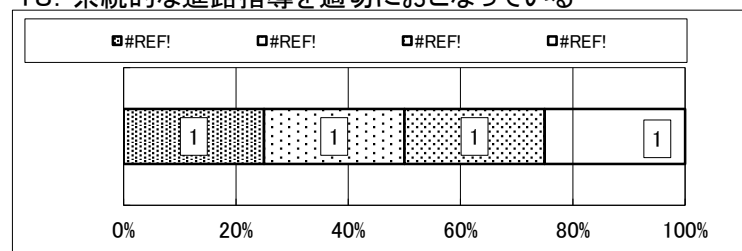
(教職員) 生徒や保護者が困っているときは素早く相談に乗っている

評価	生徒	保護者	教職員
	*****	S	S

【考察】

生徒の心身の変化に気づき、適切な支援や指導をする為には、学校と家庭との連携協力が重要です。今後も、生徒が話しやすい「心の居場所」づくりと共に、保護者との良好な関係を構築し、学校と家庭の両面で生徒を支えられるよう努めます。

18. 系統的な進路指導を適切におこなっている



(保護者) 学校は、職業観や勤労観を培うなど、進路指導を適切におこなっている

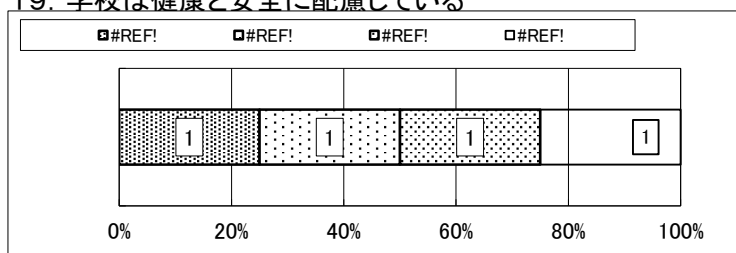
(教職員) 3年間を通した系統的な進路指導を行っている

評価	生徒	保護者	教職員
	*****	A	S

【考察】

進路指導は「生き方の指導」と捉え、教育活動全体を通じ、計画的、組織的に継続実施していきます。また、家庭は生徒にとって心の居場所であり、社会生活の最小単位として、勤労観や職業観を身に付けたり、社会性を育むために重要な役割を占めています。キャリア教育の基盤となる為、学校と家庭の連携を大切にしていきます。

19. 学校は健康と安全に配慮している



(保護者)学校は、子どもが安心して学校生活が送れるよう健康と安全に配慮している

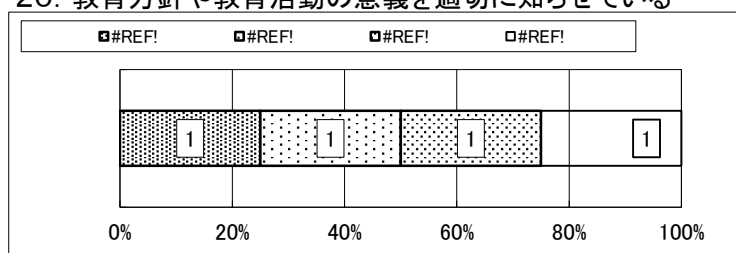
評価	生徒	保護者	教職員
	*****	S	*****

【考察】

生徒が心身ともに健やかに育つことは、学校・家庭・地域にとっての願いであり、生徒の育つ環境が安全なものとして整えていくよう努めていきます。

今後も保護者の協力と理解を得ると共に生徒が安心して学校生活を送れるよう健康と安全配慮に努めていきます。

20. 教育方針や教育活動の意義を適切に知らせている



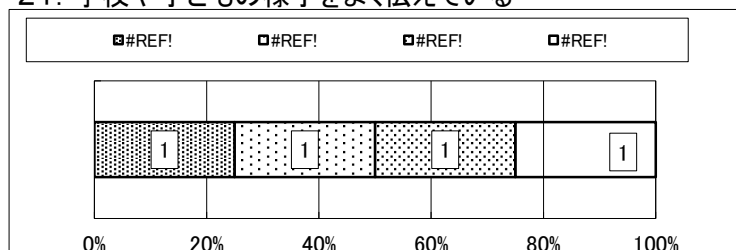
(保護者)学校は、教育方針や教育活動・行事の意義について適切に知らせている

評価	生徒	保護者	教職員
	*****	S	*****

【考察】

学校教育活動全体を通して、生徒が望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、仲間を大切に協力して、自主的な態度でよりよい学校生活が築けるよう家庭や地域などへの情報発信に努めていきます。

21. 学校や子どもの様子をよく伝えている



(保護者)学校は、学校だよりやHPで、学校や子どもの様子をよく伝えている

(教職員)ホームページや通信等を通じて、学校の情報を適切に発信している

評価	生徒	保護者	教職員
	*****	S	S

【考察】

「学校では今、こんなことに取り組んでいます」「今、こんなことを学習しています」等々の情報を保護者や地域のみならず社会に広く伝えることができるホームページの活用や、通信等を通して、生徒の様子を適時お知らせしていきます。

学校と家庭の信頼と協力関係の構築に努めます。

